

## 平成28年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ティムコ  
 コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 酒井 誠一  
 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年11月期第3四半期の業績(平成27年12月1日～平成28年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第3四半期	2,129	2.9	△22	—	△16	—	△18	—
27年11月期第3四半期	2,068	△3.2	△12	—	△7	—	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第3四半期	△7.36	—
27年11月期第3四半期	△8.25	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年11月期第3四半期	5,787	4,868	84.1	1,966.02
27年11月期	5,951	4,926	82.8	1,989.07

(参考)自己資本 28年11月期第3四半期 4,868百万円 27年11月期 4,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年11月期	—	0.00	—	—	—
28年11月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年11月期の業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,930	3.3	34	42.9	40	31.2	20	—	8.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年11月期3Q	3,339,995 株	27年11月期	3,339,995 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

28年11月期3Q	863,424 株	27年11月期	863,424 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年11月期3Q	2,476,571 株	27年11月期3Q	2,819,201 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)における日本経済は、雇用環境の改善がみられる一方で、新興国や資源国等をはじめとする海外経済の不透明感が払拭されないことに加えて、急激な円高による輸出関連企業の収益悪化や、個人消費の伸び悩みなど、引き続き弱含みな展開となりました。

当社の関連するアウトドア関連産業においても、長引く個人消費の落ち込みや、夏季における渇水や記録的台風等の天候不順の影響により、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的に営業活動を行ってまいりました。その結果、当第3四半期の売上高は21億29百万円(前年同期比 2.9%増)となりました。

また、衣料品の販売強化を目的とした宣伝広告費の増加や事業税率の上昇による租税公課の増加などにより、営業損失は22百万円(前年同期間 営業損失12百万円)、経常損失は16百万円(前年同期間 経常損失7百万円)、四半期純損失は18百万円(前年同期間 四半期純損失23百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

## (フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、折からの個人消費低迷に加えて、渇水や夏季の天候不順等の影響があったものの、昨年度発生したルアー用品の仕入れの遅延を改善し、適時納品を実行するとともに、フライ用品についても積極的に新製品を投入いたしました。

その結果、フィッシング事業の売上高は7億19百万円(前年同期比 0.7%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は経費の削減により1億1百万円(前年同期比 8.1%増)となりました。

## (アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、登山需要の低迷や、夏季以降の天候不順等により市場環境が厳しい中、当社では春以降に防虫素材「スコーロン」を使用した衣料品の販売強化に注力してまいりました。

その結果、アウトドア事業の売上高は13億85百万円(前年同期比 4.1%増)となりました。また、冬季暖冬対策として早期マークダウン(値引販売)を実施したほか、宣伝広告費の増加などの影響を受け、セグメント利益(営業利益)は、42百万円(前年同期比 25.5%減)となりました。

## (その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期累計期間に関しては、その他売上高は24百万円(前年同期比 6.4%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は17百万円(前年同期比 10.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億63百万円減少し57億87百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少2億24百万円や受取手形及び売掛金の減少62百万円、有価証券に含む譲渡性預金の一般定期預金への振替減1億円などの一方、季節的要因などによる商品及び製品の増加2億75百万円や有価証券の満期が1年内になったことに伴う投資有価証券からの振替による増加3億円などの影響により、前事業年度末に比べ1億92百万円増加し、42億40百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の有価証券への振替えなどによる減少3億14百万円などの影響により、前事業年度末に比べ3億56百万円減少し、15億46百万円となりました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億6百万円減少し9億18百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が60百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ84百万円減少し、6億82百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務が15百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ22百万円減少し2億36百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ57百万円減少し48億68百万円となりました。これは主に、四半期純損失18百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出29百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年7月8日発表の「第2四半期累計期間および通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

(3) 追加情報

法人税率の変更等による影響

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の32.3%から、平成28年12月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については、30.9%に、平成30年12月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.6%となります。

なお、この税率変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,274,909	1,050,435
受取手形及び売掛金	612,143	549,872
有価証券	814,248	997,084
商品及び製品	1,293,682	1,569,294
その他	55,289	80,843
貸倒引当金	△1,836	△6,590
流動資産合計	4,048,437	4,240,939
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	626,876	601,149
土地	653,376	653,376
その他(純額)	38,021	34,645
有形固定資産合計	1,318,274	1,289,171
無形固定資産	64,998	53,038
投資その他の資産	519,776	204,769
固定資産合計	1,903,049	1,546,979
資産合計	5,951,486	5,787,919
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	597,776	537,036
未払法人税等	12,794	11,258
返品調整引当金	24,544	20,822
賞与引当金	-	9,781
その他	131,452	103,540
流動負債合計	766,567	682,438
固定負債		
退職給付引当金	124,003	124,463
その他	134,831	112,034
固定負債合計	258,834	236,497
負債合計	1,025,402	918,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	446,167	398,216
自己株式	△478,024	△478,024
株主資本合計	4,909,590	4,861,639
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,493	7,344
評価・換算差額等合計	16,493	7,344
純資産合計	4,926,084	4,868,984
負債純資産合計	5,951,486	5,787,919

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)
売上高	2,068,849	2,129,643
売上原価	1,120,431	1,172,563
売上総利益	948,417	957,080
返品調整引当金戻入額	24,365	24,544
返品調整引当金繰入額	16,238	20,822
差引売上総利益	956,544	960,802
販売費及び一般管理費	969,115	982,950
営業損失(△)	△12,571	△22,148
営業外収益		
受取利息	2,048	1,733
受取配当金	937	931
為替差益	1,284	2,303
その他	1,944	1,218
営業外収益合計	6,214	6,186
営業外費用		
支払利息	-	0
その他	735	76
営業外費用合計	735	76
経常損失(△)	△7,092	△16,037
税引前四半期純損失(△)	△7,092	△16,037
法人税、住民税及び事業税	9,557	9,690
法人税等調整額	6,611	△7,495
法人税等合計	16,169	2,194
四半期純損失(△)	△23,261	△18,232

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	715,110	1,331,123	2,046,233	22,615	—	2,068,849
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	715,110	1,331,123	2,046,233	22,615	—	2,068,849
セグメント利益又は損失(△)	93,912	56,890	150,802	16,091	△179,464	△12,571

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△179,464千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

## II 当第3四半期累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	719,832	1,385,757	2,105,589	24,053	—	2,129,643
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	719,832	1,385,757	2,105,589	24,053	—	2,129,643
セグメント利益又は損失(△)	101,480	42,395	143,875	17,764	△183,788	△22,148

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△183,788千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。